

コード No. 18881

**Anti-Human
ERA (*E. coli* Ras-like protein) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

- はじめに : ヒト ERA は *E. coli* の GTP binding protein である ERA (*Escherichia coli* Ras-like protein) のヒトホモログです。この分子は典型的な GTPase/GTP 結合ドメインと RNA 結合ドメインとして知られる K homology (KH) ドメインを有しています。437 アミノ酸からなり予想される分子量は約 48.3 kDa です。一般に GTP 結合蛋白質は GTP 結合型 (活性型) 状態から GDP 結合型 (不活性型) 状態へ、GTPase 活性により水解されることで状態を変化させ、それによってターゲット分子との結合様式を変化させることが知られています。*E. coli* の ERA は細菌増殖と細胞周期の制御に必須であることが報告されています。
- この GTPase/GTP 結合ドメインにアミノ酸変異を導入した変異型 ERA を HeLa 細胞で強制発現させるとアポトーシスが誘導され、Bcl-2 の発現により抑制されているように GTPase/GTP 結合ドメインを介してアポトーシスシグナルの制御に関与していることが報告されています (1)。
- 免疫抗原 : Human ERA (*E. coli* Ras-like protein) の中央部分合成ペプチド ((C)AVKDPNTQSVGNPQ)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 ml に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加 (この時濃度は 100 µg/ml となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 約 5 µg/ml にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片, トリプシンによる前処理が必要)
ウエスタン・ブロッティング 約 1 µg/ml にて使用可能
- 特異性 : ウエスタン・ブロッティングにて確認。
- 文献 : Akiyama T., Gohda J., Shibata S., Nomura Y., Azuma S., Ohmori Y., Sugano S., Arai H., Yamamoto T., and Inoue J. Mammalian homologue of *E. coli* ras-like GTPase (ERA) is a possible apoptosis regulator with RNA binding activity. *Genes to Cells* 6: 987-1001 (2001)